



SAGA-Pharmacist-S Project

第8次佐賀県保健医療計画に基づく地域薬剤師リカレント教育環境整備事業

1) 薬剤師のプロフェッショナリズム教育の推進

大学病院の臨床現場で活躍するロールモデルの下で、地域薬剤師が専門性を極めるキャリア形成を理解し、
プロフェッショナリズムの修得を目指す教育を推進

2) 地域薬剤師のキャリアをサポートする指導薬剤師の育成

地域薬局や多様な医療専門職との連携により地域医療の薬物療法管理を担う
地域薬剤師のキャリア形成を支援する指導薬剤師の育成

3) Generalistの力とともに専門性を持つ地域薬剤師へと成長できる教育環境を構築

地域薬剤師がGeneralistとしての臨床能力に加え、より専門性の高い薬剤師への成長を目指すことができる
認定資格や学会発表に向けて成長する教育環境を構築

※地域薬剤師＝薬局＋病院薬剤師

地域がん医療を支える スペシャリストな人財育成

佐賀大学医学部附属病院は、地域医療の担い手である薬剤師を育成し、
より高度・複雑化しているがん化学療法を安全に地域へ届けることに
佐賀県とともに「本気」で取り組んでいます。

佐賀大学医学部附属病院 薬剤部

[所在地] 〒849-0937 佐賀県佐賀市鍋島5丁目1-1

[公式サイト] <https://yakuzai.med.saga-u.ac.jp>

[お問い合わせ] QRコードのリンク先の『お問合せフォーム』より、ご連絡ください。



佐賀大学医学部附属病院で行う地域薬剤師向けの研修

佐賀大学医学部附属病院研修制度

研修対象者：佐賀県内に勤務する実務経験3年以上をもつ薬局／病院薬剤師
研修期間：基礎コース・応用コース各6ヶ月間
研修費用：1日2200円～



がん診療病院連携研修の特徴

履修

基礎コース：6ヶ月
応用コース：1年

開催方式

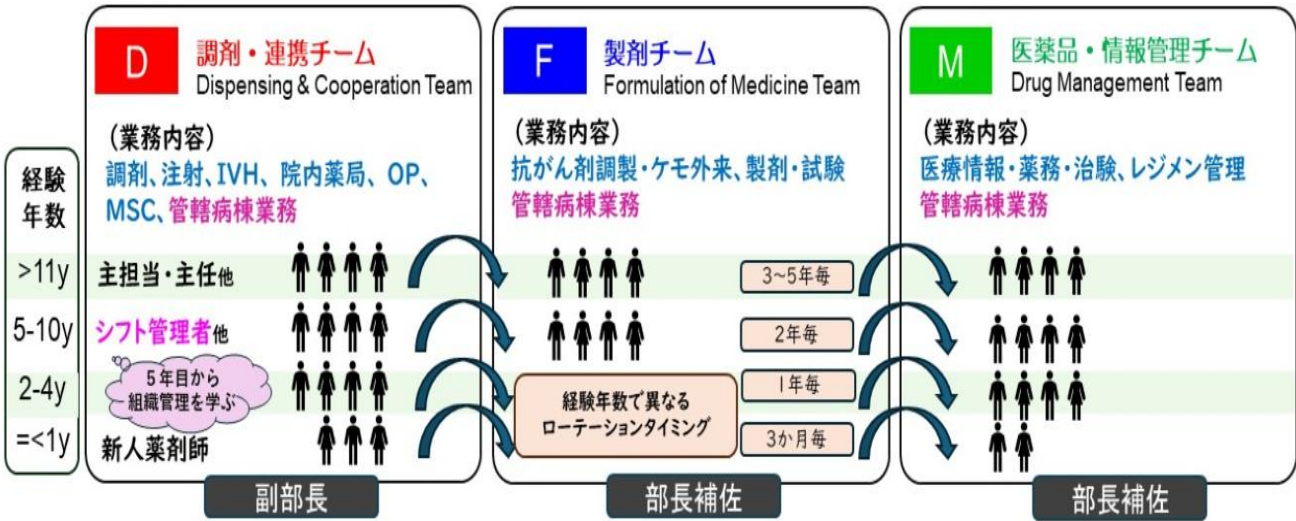
対面

特典

キャリア形成
コンサルテーション

具体的なカリキュラム 例

- 基礎コース・・・2カ月毎に薬剤部の3チームをラウンドする
- 応用コース・・・本人希望に合わせてカリキュラムを調整する



佐賀大学医学部附属病院で行う地域薬剤師向けの研修

地域薬学ケア専門薬剤師研修

日本医療薬学会

研修対象者：実務経験5年以上（日本医療薬学会に所属）の薬局薬剤師

研修期間：週1回30分のWEB症例カンファレンス 及び 現地研修（3年目～）

研修費用：7万9200円／年間



地域薬学ケア専門薬剤師 研修の特徴

履修

履修期間：**5年間**
総履修時間：**240時間**

開催方式

1、2年目：オンライン
3～5年目：対面
(週1回 毎週火曜日)

症例報告作成

症例添削
サポート

具体的なカリキュラム

■研修：1～2年目

週1回 年間約50回のオンライン研修
薬剤部症例カンファレンスへの参加



■研修：3～5年目

週1回 年間約50回の現地研修
午前：抗がん剤の部署における現地研修
午後：症例作成および研究サポート



佐賀大学医学部附属病院で行う地域薬剤師向けの研修

がん診療病院連携研修

日本臨床腫瘍薬学会

研修対象者：次年度までにAPACC受験予定、あるいは取得済の病院・薬局薬剤師

佐賀大学の『薬剤師臨床研修制度』基礎コースを修了した薬局薬剤師

研修期間：30日間連続研修

研修費用：14万8500円／1研修



がん診療病院連携研修の特徴

履修

履修期間：30日
総履修時間：240時間

開催方式

対面

特典

症例添削
サポート

具体的なカリキュラム 例

	項目	内容	実地研修で修得する事項 (R2.6.20コアカリ)	備考
実地研修	抗がん剤の調製	レジメン(プロトコル)チェック	エ・オ	研修者は、研修期間中の指導/自己研鑽を通じて、乳がん、肺がん、胃がん、大腸がんおよび血液がんにおいてコアカリに記載される「修得すべき専門的知識(ア〜ク)」についても学ぶ
		前日準備	エ	
		処方監査	オ	
		無菌調製(GSTDを含む)	シ	
		オンコロジーイメージンシー	ク・ケ	
	外来患者の指導・薬学的管理	化学療法支援外来の患者を担当 外来化学療法室の服薬指導(連携充実加算)	カ・コ・ス・セ・タ	火(木)の午前中化学療法支援外来に同行 服薬指導に同行
	入院患者の指導・薬学的管理	各病棟にて患者を担当 病棟カンファレンスへの出席	ア・ス・セ・タ	入院の化学療法オーダーから担当患者を選定 木曜午前中の2北病棟のカンファレンスに出席
	緩和ケア	緩和ケアチームのカンファレンス参加 オピオイド使用中の入院患者を担当	キ	がん疼痛緩和に関する薬剤の選択や投与経路などについて
	内服抗がん剤の調剤・管理 (2コマ)	レプラミドなど 内服抗がん剤の調剤・管理	エ・オ・ス	レプラミドの多い日に調剤室に配置 レプメイトのシステムや調剤室での内服抗がん剤扱い 出し方法について
	NST (2コマ)	カンファレンス・回診に参加	ア・イ	火曜15時からのNSTのカンファレンス、回診に同行
	DI・レジメン管理 (2コマ)	当院のDI業務について(抗がん剤を中心に)	ソ・チ	適切な検索方法を使用し、必要な情報を迅速かつ適切に回答できる
		レジメン登録業務	ウ	申請時・予備審査施行に適宜対応を(講義含む)
	研修レポート確認	同左	ー	毎日のレポート確認
	キャンサーボード見学	同左	ア	毎月第一月曜
	エキスパートパネル見学	同左	ア	毎週火曜日
	企業/病薬勉強会参加	同左	サ	
課題報告	介入症例などを発表する	研修者と話し合って決める		研修報告会で発表いただく